

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票（レベル2）の作成及び更新情報

2013. 07. 28 ○ 「災害時公衆衛生歯科機能について考える盛岡ワークショップ」開催（盛岡市）
○ 行政、大学、歯科医師会関係者等 20 名参加
○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）の必要項目について検討
2013. 09. 28 ○ 続・盛岡ワーク「災害時避難所等口腔保健アセスメント標準化を考えるワークショップ」開催（横浜市）
○ 行政、大学、歯科医師会関係者等 18 名参加
○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）の素案をもとに各項目の内容について協議
2013. 09. 29 ○ 電話、電子メール等による調整（暫定案作成に向けて）
～10. 17
2013. 10. 17 ○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）暫定案 Ver. 1.0 の作成
2013. 12. 13 ○ 暫定案から暫定版に格上げ。併せて Ver. を 1.0 から 1.1 に更新。
○ 更新箇所
- ・ アセスメント票の名称
「避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）」
→ 「避難所等歯科口腔保健 **標準アセスメント票（レベル 2）**」
 - ・ **左余白の拡大**（綴じ代を確保するため）
 - ・ 右上隅に「**No.** 」欄の追加（整理番号記入欄）
 - ・ 項目(4)の項目の名称
「(1)の口腔清掃ができていますか」→ 「(1)の**者の口腔清掃状況**」
 - ・ 項目(4)の確認項目 d の名称
「障害児者・要介護者の介助」→ 「障**が**い児者・要介護者の介助」
 - ・ 項目(6)の確認項目 b の名称
「巡回歯科チーム」→ 「巡回歯科チーム**への受診**」
2015. 01. 31 ○ 暫定版から正式版に格上げ（暫定版をとる）。併せて Ver. を 1.1 から 2.0 に更新。
○ 更新箇所
- ・ 「Ver.」の記載を下端右に移動し、「災害時公衆衛生歯科機能を考える会 **標準 Ver. 2.0**」とする。

- ・ 避難所名（施設名）→避難所等の名称（用語の統一）
- ・ 避難者数→避難者等の人数（用語の統一）
- ・ 責任者氏名→避難所等の責任者氏名（避難所等の責任者氏名欄であることを明確にするため）
- ・ 評価時在所避難者数→評価時在所避難者等の人数（用語の統一）
- ・ 評価時在所避難者数の記入欄を右揃え（記入スペースを確保するため）
- ・ 情報収集法の項目
「避難者からの聞き取り」→「避難者等からの聞き取り」（用語の統一）
- ・ 項目(1)の確認項目 a の名称
「乳幼児」→「乳幼児（就学前）」（区分を明確にするため）
- ・ 項目(1)の特記事項「※再確認！」の削除（再確認の意味がわかりにくいので、再確認の意味は記入例に記載することとする）
- ・ 項目(4)の項目の名称
「(1)の者の口腔清掃状況」→「口腔清掃状況」
「(1)の者の」の削除（避難者全体の評価をするため）
- ・ 項目(5)の確認項目 a～c の選択肢
1 いない, 2 いる（約 人）, 3 不明
↓
1 いる（約 人）, 2 確認できない
- ・ 項目(6)の確認項目 a の名称及び選択肢
「a 歯科診療所や仮設歯科診療所への受診」 1 容易, 2 不便*, 3 施設ない, 4 不明
*（具体的に： ）
↓
「a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等」
1 あり, 2 ない, 3 不明
- ・ 項目(6)の確認項目 b の名称及び選択肢
「b 巡回歯科チームへの受診」 1 容易, 2 不便*, 3 巡回ない, 4 不明
*（具体的に： ）
↓
「b 巡回歯科チームの訪問」 1-①あり(定期的), 1-②あり(不定期),
2 ない, 3 不明
(項目(6)の確認項目 a, b において補足が必要な場合は、特記事項に記載することとする)
- ・ 下端中央に「(〇〇県・〇〇県歯科医師会)」を追加
- ・ 本票裏面に、「本アセスメント票を活用する前の確認事項」を追加

2015. 04. 01 ○ 2015 年 4 月 1 日に日本災害時公衆衛生歯科研究会が発足したことに伴う更新及びその他（アセスメント項目以外）の一部更新。アセスメント項目の更新はないことから Ver. の変更なし。

- 更新箇所
 - ・ 本アセスメント票の表面・裏面の作成機関名
「災害時公衆衛生歯科機能を考える会 標準 Ver. 2.0」
↓
「**日本災害時公衆衛生歯科研究会** 標準 Ver. 2.0」
 - ・ 本アセスメント票の表面・裏面の「(〇〇県・〇〇県歯科医師会)」に「〇〇県歯科衛生士会」を追加
「(〇〇県・〇〇県歯科医師会)」
↓
「(〇〇県・〇〇県歯科医師会・**〇〇県歯科衛生士会**)」
- 2016. 07. 30 ○ 横浜ワーク「災害時避難所等口腔保健アセスメント標準化を考えるワークショップ」開催（横浜市）
 - 行政、大学、歯科医師会関係者等 28 名参加
 - 標準アセスメント票 Ver. 2.0 について、熊本地震での活用結果を基に検証更新内容について検討
- 2017. 05. 31 ○ 第 66 回日本口腔衛生学会総会（山形）のミニシンポジウム 5 「災害時の歯科保健医療体制をめぐって～平成 28 年熊本地震等を受けて～」において、標準アセスメント票の改訂案（Ver. 3.0 案）について発表
- 2017. 06. 12 ○ 日本災害時公衆衛生歯科研究会のホームページにて、「避難所等歯科口腔保健～標準アセスメント票（レベル 2）Ver3.0（案）」の意見募集
- 2017. 07. 15 → 意見件数 0
- 2017. 08. 22 ○ Ver. を 2.0 から 3.0 に更新。
 - 更新箇所
 - ・ アセスメント票の名称
「避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票（レベル 2）」
→ 「**施設・避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票（レベル 2）**」
 - ・ 避難者等の人数→避難者等の人数（**夜間を含む**）（避難者等の人数が、夜間に避難している者も含むことを明確にするため）
 - ・ 評価年月日→評価年月日（**曜日**）（曜日を明確にするため）
 - ・ 「西暦 20 年 月 日」→「**年 月 日（ ）**」（西暦の削除、曜日の挿入）
 - ・ **欄外下の「簡易評価の定義」を削除し、項目(2)～(6)の簡易評価の選択肢に定義を追加**（簡易評価の基準をわかりやすくするため）
 - ・ 簡易評価の選択肢「○」の定義
（ほぼ良好、ほぼ問題なし）→（**概ね良好、概ね問題なし**）
 - ・ **項目(3)の確認項目 f と項目(5)の確認項目 c の削除**（確認項目数の整理のため。記録が必要な場合は、特記事項欄または「その他の問題」の欄に記載することとする）

- ・ 項目(5)の確認項目 a、b の選択肢（「確認できない」の定義は、「いない」または「わからない」であるが、わかりにくいことから修正する）
 - 1 いる（約 人），2 確認できない
 - ↓
 - 1 いる（約 人），2 いない, 3 不明
- ・ 「その他の問題」の具体例を明示（具体例を示して記載しやすくするため）
 - 「具体的に：」
 - ↓
 - 「例）歯科保健医療に関するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況等に関する事項、医師や保健師等の他チームに伝達すべき事項」
- ・ 本票裏面の「避難所等」、「避難所」の一部（アセスメント票の名称変更に合わせて一部修正する）
 - 「避難所等」、「避難所」→「施設・避難所等」、「施設・避難所」